

令和 8 年 3 月 19 日

市 民 環 境 部

農 林 水 産 部

“獲る漁業から海業”へ 資源減少・担い手不足の漁業を考える公開勉強会を開催します

唐津市は、ネイチャーポジティブ宣言から約 1 年を迎え、自然環境の保全と地域経済の両立を目指す取り組みを進めています。

唐津市では、これまでの漁業の営みを大切にしながら、「獲る漁業」に加えて海の価値を育て活かす「海業」へと可能性をテーマに、漁業者、漁業関係者を対象とした公開勉強会を開催します。

1 日時

3 月 25 日 (水) 14 時から 17 時まで

2 場 所

災害対策本部会議室

3 内容

- 環境 DNA とは何か、どのようなことが分かるのか
- 海の現状をどのように捉えることができるのか
- 持続可能な漁業に向けて、今後どのような可能性が考えられるか
- 漁業者同士、講師との意見交換・交流

4 勉強会の背景

唐津市の水産業は、漁獲量の減少と担い手不足という大きな課題に直面しています。市内の漁獲量は、平成 20 年以前には年間 12,000 トンを超えていましたが、令和 5 年には 2,764 トンとなり、約 77% 減少しています。

また、漁業者数も平成 20 年度の 1,207 人から令和 5 年度末には 451 人まで減少しました。さらに漁業者の高齢化も進み、60 代以上が約 6 割を占める状況となっています。

加えて、藻場の減少や磯根資源の減少など海の環境変化も深刻化しています。

こうした状況を踏まえ、本勉強会では環境 DNA という新しい科学的手法を切り口に、漁業者や研究者、関係者が海の現状を共有し、持続可能な水産業の未来について対話を通じて考える機会として開催します。

5 講師

- 一般社団法人サステナビリティセンター 代表
東北大学ネイチャーポジティブ発展社会実現拠点客員教授
だざい あきひろ
太齋 彰浩 様

環境と社会の持続可能性をテーマに、研究・実践・地域連携を横断した取り組みを推進。環境 DNA をはじめとする科学的知見を、現場や地域社会とつなぐ活動に携わっており、ネイチャーポジティブの考え方を社会実装へと展開されています。

- 一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン 所長
東北大学ネイチャーポジティブ発展社会実現拠点客員教授
はせがわ たくや
長谷川 琢也 様

漁業者を中心とした現場発の取り組みを通じて、水産業の価値向上や担い手育成、地域と漁業の新しい関係づくりに取り組む。全国各地の事例に精通し、漁業の可能性を広げる実践的な活動を続けています。

6 申し込み

別紙チラシの二次元コードから申し込んでください。

本件の問い合わせ先 市民環境部 環境課 担当:中江、檜崎 電話:直通 72-9175 (内線 2054) 農林水産部 水産課 担当:坂本、平藤 電話:直通 72-9130 (内線 2431)

“獲る漁業”から“育てる海業”へ

水産業の 未来を考える

唐津で未来の海を考える勉強会

2026年（令和8年）水曜日

3月25日

14:00～17:00



唐津市役所 3階
災害対策本部会議室

お申し込みはこちら



QRコードをスキャン

主催：唐津市環境課・水産課

共催：一般社団法人BLUE BEVIVE

環境DNAと現場の知恵が交差する、 新しい水産業のかたち



太齋 彰浩 氏

一般社団法人サステナビリティセンター
代表

環境と社会の持続可能性をテーマに、研究・実践・地域連携を横断した取組を推進。環境DNAをはじめとする科学的知見を、現場や地域社会とつなぐ活動に携わっており、ネイチャーポジティブの考え方を社会実装へと展開している。



長谷川 琢也 氏

一般社団法人フィッシャーマンジャパン
所長

漁業者を中心とした現場発の取組を通じて、水産業の価値向上や担い手育成、地域と漁業の新しい関係づくりに取り組む。全国各地の事例に精通し、漁業の可能性を広げる実践的な活動を続けている。

時間	内容
13:30	受付
14:00	開会・オープニング
14:10	基調講演①(太齋氏)
14:50	基調講演②(長谷川氏)
15:30	休憩
15:40	意見交換会 パネルディスカッション
16:30	閉会

お問い合わせ

唐津市環境課カーボンニュートラル推進係

TEL:0955-72-9175

Mail:kankyous@city.karatsu.lg.jp